

スイゲンゼニタナゴ

って知っとる??



写真：盈進学園 古本 哲史

スイゲンゼニタナゴは山陽地方に生息しており、広島県では芦田川水系にのみ生息している貴重な魚です。

一方で、生息環境の悪化により絶滅の危機に直面しており、その他の身近だった地域の魚たちも姿を消しつつあります。

今回、第69回魚類自然史研究会が福山市で開催されることを機会に、芦田川の魚の保全、地域の魚の保全について、みんなで知り、考える場としてシンポジウムが開催されます。

講演

講師プロフィール

河村 功一（三重大学生物資源学部 教授）

主に淡水魚を対象に希少種保護、外来種の特性解明を目的とした研究を行っています。

スイゲンゼニタナゴに関する研究は、2005年から卒業生の三宅琢也君と一緒にしているものです。

最近では、淡水魚の国内外来種問題に取り組んでおります。



渡辺 勝敏（京都大学大学院理学研究科 准教授）

東京水産大学 博士課程修了、博士（水産学）

専門：淡水魚の生態学、進化学、保全生物学

著書：『淡水魚類地理の自然史』（共編著）、『淡水魚保全の挑戦-水辺のにぎわいを取り戻す理念と実践』（共編者）、『保全遺伝学入門』（共訳）ほか



テーマ スイゲンゼニタナゴの過去・現在・未来

～芦田川の魚の保全にむけて～

日時 2019年**10月13日**（日）（13時～17時）

場所 **まなびの館ローズコム**（中会議室）

（福山市霞町1-10-1）

定員 **60** 名程度（当日受付）

主催 魚類自然史研究会、福山市

芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会

スイゲンゼニタナゴを守る市民の会

参加費
無料



問い合わせ先 福山市環境保全課 TEL:084-928-1072

第69回魚類自然史研究会関連シンポジウム

「スイゲンゼニタナゴの過去・現在・未来～芦田川の魚の保全にむけて～」

主催：魚類自然史研究会，福山市，芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会，スイゲンゼニタナゴを守る市民の会

開会（13：15）

<基調講演>

身近な淡水魚の歴史を未来につなげる - 何を守るのか（13：25～14：10）

渡辺 勝敏（京都大学大学院 理学研究科）

遺伝情報から探るスイゲンゼニタナゴの過去（14：10～14：55）

河村 功一（三重大学大学院 生物資源学研究科）

<話題提供>

スイゲンゼニタナゴに関する環境省の取り組み（15：10～15：25）

鷺海 智佳（環境省中国四国地方環境事務所）

ミヤコタナゴの保全における現状と課題（15：25～15：40）

鈴木 規慈（ミヤコタナゴ保全研究会）

淡水魚の保全に関わる様々な連携（15：40～15：55）

金尾 滋史（滋賀県立琵琶湖博物館）

<パネルディスカッション>

スイゲンゼニタナゴの保全、地域の淡水魚の保全にむけて

・パネリスト（16：05～17：00）

青 雅一（岡山淡水魚研究会） 室 貴由輝（岡山県教育委員会）

山野 ひとみ（倉敷芸術科学大学生命科学部）

・ファシリテーター

古本 哲史（盈進学園中学高等学校／スイゲンゼニタナゴを守る市民の会）

閉会（17：00）